

# 大橋 あきお

## 大阪府議会議員

# 通信

## 2019年 秋冬号

発行：大橋章夫府政事務所  
〒573-0027 枚方市大垣内町2-17-5 ダイショウビル301  
TEL: 072-861-0117 / FAX: 072-861-0116

<https://ohashi-a.com/>



■委員会で質問する大橋府議



## 大阪府議会 都市住宅常任委員会より

一昨年の九州北部豪雨、昨年の西日本豪雨や台風21号、そして今年の台風15号、19号による東日本での豪雨災害など、わが国では近年、豪雨や台風による甚大な被害が発生しています。災害から人、街、財産を守りながら、魅力あるまちづくりを進めていくことが求められています。

大橋あきおは、大阪府議会9月定例会において、地元枚方市のインフラ整備をはじめ、これからの大阪の魅力あるまちづくりについて議論しました。



### “新たな淀川渡河橋”の進捗状況について

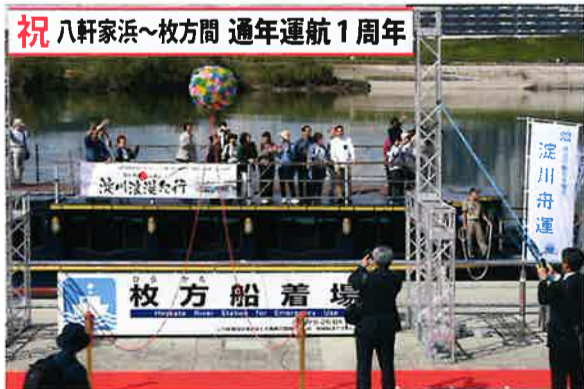
淀川は河口から2~3kmごとに橋がありますが、国道170号の枚方大橋から京都府八幡市の御幸橋まで12kmに渡って橋がなく、枚方大橋に交通が集中して渋滞が発生することや、もしもの災害の時に緊急交通路が枚方大橋しかないことが長年の課題になっています。大橋あきおは2年前の都市住宅常任委員会で新しい渡河橋の整備を大阪府に訴え、府道牧野高槻線の単独橋で整備を進めていくとの結論を得ました。

### 淀川沿川のにぎわいと枚方市のまちづくり

枚方市を流れる淀川は、自然が豊かで、さまざまなレクリエーション活動を行うことができる素晴らしい広大な空間が広がっています。しかし、この魅力的な空間を活かしきれていないように感じます。枚方市における市駅周辺整備と連携し、淀川を市民や周辺地域の方々が訪れたい空間にしていくことで、中心市街地のにぎわいが拡大していくのではないかと考えから、「淀川沿川のまちづくり」について質問しました。

府は、舟運による交流、サイクルルート環境整備、沿川の魅力

スポットや特産品などの淀川ブランド、歴史街道などの地域資源の活用等、民間のまちづくり団体を支援しながら、淀川沿川のにぎわいづくりに努めていくと答弁しました。



10月の委員会では、牧野高槻線と関連する府道京都守口線の整備、周辺環境への影響対策などについて質問、大阪府は、枚方市、高槻市、両市の意見や地域住民の声をしっかりと受け止め、着実に事業を進めること、渡河橋に連なる京都守口線の拡幅工事、低騒音舗装による騒音対策などの沿道対策も適切に取り組んでいくと答弁しました。

### ホテルのバリアフリー化の促進



公明党は、大阪・関西万博の開催や外国人観光客の増加を受け、車いす使用者を含め、より多くの人がホテルを利用しやすくなるように、一般客室のバリアフリー化を促進する条例改正を求めてきました。大橋あきおは、今委員会において、「条例改正に向け、ホテル客室の基準が、車いす使用者にどの程度配慮されているか、皆さんの意見を十分聞いて進めているのか」を質問しました。

府は、今後新設されるホテルは、車いす使用者が車いすのまま入退室できる浴室などのバリアフリー化の基準を設ける。また、既存のホテルについては、バリアフリー化された情報を、車いす使用者を含め、より多くの人に届けるよう取り組むと答弁しました。